



企業理念の実現に向け
社会との共通価値の創造を
目指します。

統合レポート発行にあたって

2020年から続く新型コロナウイルスによるパンデミックは、リスクや事業継続に対する社会と企業の意識に大きな変化をもたらし、社会全体に構造変革を迫るものとなりました。また、気候変動や人権といった社会課題への関心が加速度的に高まり、持続可能な社会の実現に向けて、企業も自らの役割の重さを見つめなおしています。

このような中、クリタグループも、水と環境の分野から社会と産業を支える自らの事業の重要性と、企業理念「“水”を究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創造する」が揺らぐことのない価値観であることを認識しました。当社グループの企業理念には、創業時から続く「新たな価値提供」への希求と社会への貢献の姿勢が込められていますが、自らの存在意義を問いなおしたとき、あらためて社会課題から事業を捉えなおす必要があると考えました。

この度クリタグループは、取締役会での議論を経て「価値創造ストーリー」を定めました。これは、当社グループが、企業理念の実現に向け、長期的に企業価値を生み出し、社会とともに持続的に成長していくための道筋を描いたものです。今後、当社グループは、現場接点を産業にとどまらず社会に広げ、「水に関する知」を活用したソリューションにより新たな価値を提供することで、社会に変化をもたらしていきます。

引き続き、本レポートが、そのようなクリタグループの姿をご理解いただく一助となり、皆様との建設的な対話の契機となれば幸いです。

2021年7月

代表取締役社長

門田道也

目次

統合レポート発行にあたって	1
クリタグループ Overview	2
価値創造のあゆみ	2
理念体系	4
ビジネスフィールド	5
価値創造ストーリー	6
パフォーマンス	8
クリタグループの戦略	10
社長インタビュー	10
財務戦略	15
中期経営計画	
「MVP-22 (Maximize Value Proposition 2022)」	16
CSRの取り組み	18
クリタグループのビジネス	24
ビジネスフローにおける機会とリスク	24
デジタル戦略本部	24
ソリューション推進本部	25
開発本部	26
国内営業本部	28
グローバル営業本部	29
グループ生産本部	30
主要なビジネスモデル	32
事業セグメント別概況	34
水処理薬品事業	34
水処理装置事業	36
価値創造を支える基盤	38
取締役、監査役および執行役員	38
コーポレートガバナンス	40
リスクマネジメント	50
コンプライアンス	54
人材マネジメント	56
環境改善活動	58
財務情報	62
詳細の財務情報についてはホームページのIRサイトに掲載しています。	
IRサイト： https://ir.kurita.co.jp/index.html	
企業情報	71

免責事項

本レポートは、栗田工業株式会社および連結子会社の計画・戦略などの将来見通しを含んでいます。この見通しは、現在入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
※ 本レポート内で使用している商標（製品、サービス、ロゴ）は、当社または当社に使用を認めた権利者に帰属します。